

# 第10回ITS地域交流会 in 山陰地方 2016

## ～中山間地域の暮らしにおける交通や移動の課題を考える～

開催日時 2016年 12月 8日(木) 13:00~17:30

開催場所 一般財団法人 米子市文化財団 米子市文化ホール イベントホール

主催 特定非営利活動法人 ITS Japan

共催 鳥取大学持続的過疎社会形成研究プロジェクト

後援 鳥取県、島根県、しまねソフト研究開発センター・島根県IoT推進ラボ

※プログラムは予告なく変更する場合があります

参加者：鳥取県・島根県の市町村でまちづくりや都市・交通政策等に従事されている方、  
ITS／ICTを活用した交通まちづくりに関心がある公的機関の方、等

定員 60名  
参加無料

■受付		12:30 ~
■開会		13:00
開会挨拶 特定非営利活動法人 ITS Japan 常務理事		大月 誠
■第Ⅰ部 講演／取り組み紹介		13:15- 15:20
基調講演 「少人口地域における生活サービスの再構築に向けて」 鳥取大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授		谷本 圭志
取り組み紹介 「中山間地域における住民主体の取り組みの背景と課題」 公立鳥取環境大学 経営学部 准教授		倉持 裕彌
「雲南市の公共交通の取組み」 島根県 雲南市 政策企画部 地域振興課 GL		野々村 達志
「市民協働の取組み（“塩レポ”）と情報の見える化」 長野県 塩尻市 企画制作部 情報政策課 課長		金子 春雄
「地方部のICTを活用した交通関連の取り組み」 株式会社 バイタルリード 代表取締役		森山 昌幸
■休憩		15:20 - 15:40
■第Ⅱ部 ディスカッション ～地域の元気に役立つ交通を考える～		15:40 - 17:20
進行、モデレータ 鳥取大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授		谷本 圭志
グループディスカッション（前半） ※ 講演内容や取組み、地域の交通課題について、参加者同士で議論		
※参加者がグループに分かれ、講演の内容、参加者地元の交通や移動の課題、交通まちづくりの取組み、等について議論。情報共有を図るとともに、登壇者からのアドバイス、コメントを得る		
パネルディスカッション、全体ディスカッション（後半） ※ 登壇者や他の参加者との討議、質疑応答		
■閉会		17:20- 17:30
■情報交換会	※会場は近隣を予定（後日連絡）	17:50 - 19:30

# 第10回ITS地域交流会 in 山陰地方2016 ～中山間地域の暮らしにおける交通や移動の課題を考える～



## 会場「米子市文化財団 米子市文化ホール」へのアクセス

どうぞ公共交通をご利用下さい！



### 交通アクセス

JR米子駅：徒歩2分

一般財団法人 米子市文化財団 米子市文化ホール

〒683-0043 鳥取県米子市末広町293

TEL:0859-35-4171 FAX:0859-35-4175

<http://yonagobunka.sanin.jp/p/yonagobunka/culturehall/access/>

# 第10回ITS地域交流会 in 山陰地方 2016 ～中山間地域の暮らしにおける交通や移動の課題を考える～

地域の創生に向け、街は、交通は、どうあるべきか？

IT/ITS、地域公共交通、ビッグデータ活用  
地域力を高めるまちづくり、交通弱者のモビリティ  
等の専門家、リーダーが大集結！

## 講演タイトルと講師

1	基調講演：少人口地域における生活サービスの再構築に向けて 鳥取大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授	谷本 圭志
2	中山間地域における住民主体の取り組みの背景と課題 公立鳥取環境大学 経営学部 准教授	倉持 裕彌
3	雲南市の公共交通の取組み 島根県 雲南市 政策企画部地域振興課 GL	野々村 達志
4	市民協働の取組み("塩レボ")と情報の見える化 長野県 塩尻市 企画制作部 情報政策課長	金子 春雄
5	地方部のICTを活用した交通関連の取り組み 株式会社バイタルリード 代表取締役	森山 昌幸

## グループディスカッションについて

ITS地域交流会の特徴は、講師と参加者が一体となって行う「グループディスカッション」。参加者同士、講師であるIT/ITS、交通まちづくりの専門家と同じテーブルに座り、地域の交通や移動の課題、参加者の地域それぞれの取組み状況、解決に向けたアイディアなどを「個人」として自由に発言いただけます。

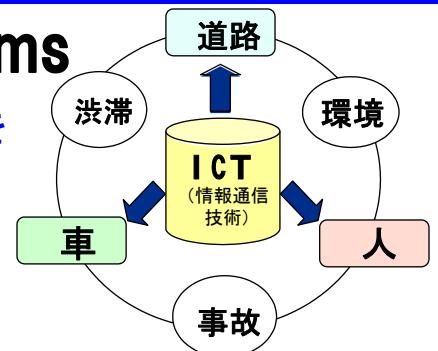
共通の課題を持つ人を知り、講師との質疑応答で解決の糸口を得るきっかけや、頼りになりそうな地域の人、事業者を知り、次へのアクションが見えてきたら大収穫！

# (参考)ITS/ICTを活用して魅力ある地域を実現する「地域ITS」の活動とは?

## ITS : Intelligent Transport Systems

情報通信技術や電子制御技術を活用して交通の諸問題を解決するとともに、生活の質的向上と経済発展を促進

- ・安全/安心：交通事故ゼロ社会、世界一安全な道路交通社会
- ・環境/効率：渋滞ゼロ社会、CO<sub>2</sub>排出量削減目標の達成
- ・快適/利便：世界一快適/便利な移動交通社会

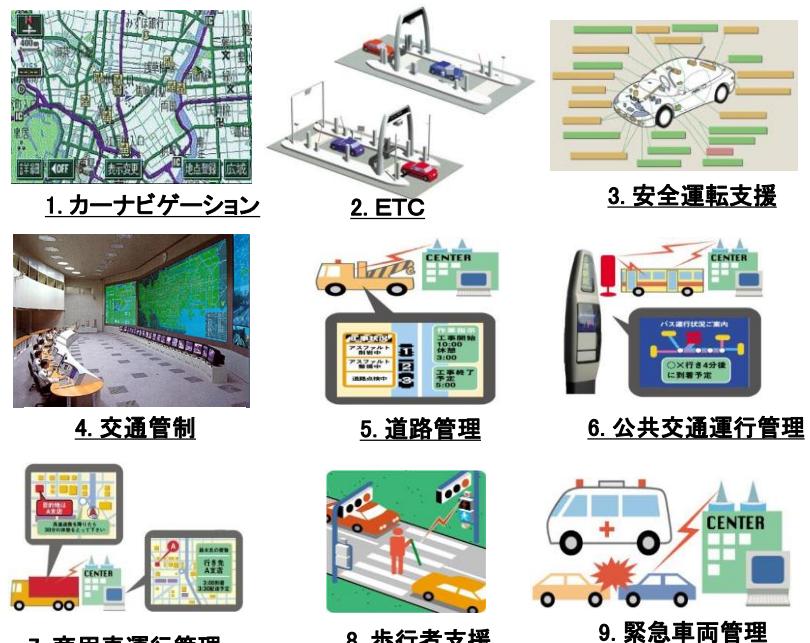


### 進化するITS/ICT

★オープンなプラットフォームの活用



### 交通の問題を解決してきたITSシステム



### 地域ITSのありたい姿



ITS/ICT技術を活用し、環境、福祉、まちづくり、防災の視点で地域経済を活性化

地域を支えるモビリティの課題

地域の共通課題（高齢化、少子化、財政難等）

ITS/ICT技術の活用

#### 環境の視点



施策の例

- ・環境に配慮された公共交通（HV、EV）
- ・P&R、低炭素な移動手段（歩行者、自転車など）
- ・エネルギー・マネジメント

インターネット環境の整備

#### 社会環境の変化



#### まちづくりの視点

施策の例

- ・歩行者に配慮した安心安全な道路、まち
- ・高齢者も健脚のまち
- ・マルチモーダルな交通手段確保

#### 福祉の視点



施策の例

- ・高齢者モビリティの確保（病院、買い物など）
- ・いつでもどこでもオンデマンド（バス、タクシー）
- ・福祉施策と連動した料金体系

#### 魅力あるまち 地域経済の活性化

総合的交通体系の整備

#### モバイルデバイスの発展

#### 防災・減災の視点

施策の例

- ・防災情報の整備、共有化、システム化
- ・地域住民、観光客への情報提供
- ・近隣自治体との広域連携（相互利用、情報交換）

地域ITSの目指すところ

地域それぞれが考へて選択した固有の施策を実施し、活力ある魅力ある地域を実現

### 地方の暮らしの維持 は喫緊の課題

#### ★地域の共通課題

